

別報

第二回同情叢業總裁貞二郎

東京木板學徒組合 異信製材會社

六月七日

去月四日ヨリ一回に亘る日

太田信次郎氏紅葉に於ける暴行事件講評

著者補報ヤ上に記す及次ヤジ一たが  
著者第一回の同情叢業總裁に於ける何般と絶大の御援助を發揮したる事  
争議が今後之勝利に歸せば、製材組合ある資本家の醜聞を商國製材  
工所組合の醜聞とが根柢同一で争議同一正義反の栗原至容丸が終  
て今日意識的ト能歎行高志をもたらす。

尊う本取組然起つも階級的制裁を與へんとする事あり。

前回第一回同情叢業を実行するにあたり友誼各國本諸君の熱烈なる應援と支  
持と立脚致する事あります。、參加工場は全叢業進行中の廿三、有志者  
加工場々三十人、もつて第一回の數を實に出し倍大の勢力を奮闘し木場赤曾有  
の大叢業を完行し一舉に敵の城砦を殲滅せんとする事あります。

只惜つたれ申希ひすが未つて諸君の奮闘に下りくもつじあらせん、また  
木場イナセキス木場木場見一木血を見る事